

(事例2) 55歳男性、耐火物施工、意識消失のため夜勤及び単独作業禁止

類型	症候	疾患
1, 2, 3	2. 意識障害	15. アルコール性障害

きっかけ	<input type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input checked="" type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 55歳 男性 高血圧の家族歴あり、大酒家</p> <p>2) 業種、作業内容 精銅所構内、耐火物施工(耐火煉瓦積み上げなど)</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 意識消失、アルコール障害疑い</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 保留 意識消失について結論が出るまで、夜勤および単独作業を避けてください。</p>		
<p>4. 事例の詳細(背景、経緯、特に考慮した事情など) 大酒家、交代勤務で現場作業に従事。職場での宴会で意識消失し頭部外傷を負った。 原因不明の間は夜勤および単独作業を避けることとした。 脳波、心電図にて異常がないことを確認し、また節酒等指導を行ったうえで制限を解除した。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的(複数回答可)</p> <p>① 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため</p> <p>② 企業リスクが予見されたため(交通事故、公衆災害の発生など)</p> <p>③ 健康管理を促進するため(受診、治療を強く進めるため)</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えてください アルコール障害を疑う事例であり、飲酒の継続があれば問題再発のリスクは高い。</p>		